

贵州省地方志编纂委员会办公室辑

贵州历代方志集成

〔民国〕贵州通志



中国文史出版社

贵州省地方志编纂委员会办公室 辑

贵州历代方志集成

【民国】贵州通志



中国文史出版社

总目 录

贵州省

第一册

【弘治】贵州图经新志	(一)
【嘉靖】贵州通志	(一九三)
【宣统】贵州地理志	(五一)

第二册

【万历】贵州通志	(一)
----------------	-----

第三册

【乾隆】黔南识略	(一)
【乾隆】贵州通志	(二〇五)

第四册

【乾隆】贵州通志	(一)
----------------	-----

第五册

【民国】贵州通志	(一)
----------------	-----

第六册

【民国】贵州通志	(一)
----------------	-----

第七册

【民国】贵州通志	(一)
----------------	-----

第八册

【民国】贵州通志	(一)
----------------	-----

第九册

【民国】贵州通志	(一)
----------------	-----

第十册

【民国】贵州通志	(一)
【民国】今日之贵州	(三九九)

第十一册

【万历】黔记	(一)
--------------	-----

第十二册

【万历】黔记	(一)
【康熙】黔书	(四三五)
【嘉庆】续黔书	(五一九)
【嘉庆】黔记	(五八九)
【嘉庆】黔史	(六三三)

【同治】苗疆闻见录 (六五七)

贵阳府（今属贵阳市）

第十三册

【道光】贵阳府志 (一)

第十四册

【道光】贵阳府志 (一)

第十五册

【道光】贵阳府志 (一)

【民国】开阳县志稿 (二四七)

【民国】修文县志稿 (四九五)

第十六册

【民国】息烽县志 (一)

【民国】清镇县志稿 (四七五)

遵义府（今属遵义市）

第十七册

【道光】遵义府志 (一)

第十八册

【道光】遵义府志 (一)

第十九册

【民国】续遵义府志 (一)

第二十册

【民国】续遵义府志 (一)

第二十一册

【民国】续遵义府志 (一)

【民国】遵义新志 (二九二)

第二十二册

【嘉庆】正安州志 (一)

【咸丰】正安新志 (一二一)

【光绪】续修正安州志 (二五三)

第二十三册

【嘉庆】仁怀县草志 (一)

【道光】仁怀直隶厅志 (四五)

【光绪】增修仁怀厅志 (四四三)

第二十四册

【光绪】增修仁怀厅志 (一)

【光绪】桐梓县志 (一三三)

第二十五册

【民国】桐梓县志 (一)

第二十六册

【民国】桐梓县概况 (一)

【乾隆】绥阳县志 (五九)

【民国】绥阳县志 (九七)

【光绪】余庆县志 (三二五)

【民国】余庆县志 (三七九)

【康熙】湄潭县志 (四八一)

第二十七册

【光绪】湄潭县志 (一)

【民国】务川县备志 (二二七)

【光绪】都濡备乘 (二六九)

【康熙】龙泉县志草 (三一)

水城厅 (今属六盘水市)

【光绪】水城厅采访册 (三二九)

【民国】郎岱县访稿 (四七一)

【民国】水城县志草稿 (五五三)

安顺府 (今属安顺市)

第二十八册

【咸丰】安顺府志 (一)

第二十九册

【咸丰】安顺府志 (一)

【民国】续修安顺府志 (二七五)

第三十册

【民国】续修安顺府志 (一)

【道光】永宁州志 (二七七)

【咸丰】永宁州志补遗 (四六九)

第三十一册

【光绪】镇宁州志 (一)

【民国】镇宁县志 (八七)

【道光】安平县志 (四四一)

第三十二册

【道光】安平县志 (一)

【民国】平坝县志 (一六一)

【民国】关岭县志访册 (四五七)

【民国】紫云县社会调查 (五一七)

【民国】羊场分县访册 (五七三)

大定府 (今属毕节市)

第三十三册

【道光】大定府志 (一)

第三十四册

【道光】大定府志		(一)
【民国】大定县志		(二一九)

第三十五册

【民国】大定县志		(一)
【乾隆】黔西州志		(二四五)
【嘉庆】黔西州志		(三五三)
【光绪】黔西州续志		(五〇七)

第三十六册

【民国】黔西州志		(一)
【乾隆】平远州志		(九五)
【道光】平远州志		(一九一)
【民国】威宁县志		(三三一)

第三十七册

【乾隆】毕节县志		(一)
【同治】毕节县志稿		(一七一)
【光绪】毕节县志		(四六九)

铜仁府（今属铜仁市）

第三十八册

【嘉靖】思南府志		(一)
【道光】思南府续志		(八七)

第三十九册

【道光】铜仁府志		(一)
【民国】思南县志稿		(二六五)
【乾隆】石阡府志		(三七九)

第四十册

【乾隆】玉屏县志		(一)
【民国】玉屏县概况		(二三七)
【民国】石阡县志		(二六五)

第四十一册

【民国】玉屏县志资料		(一)
【康熙】平溪卫志书		(二九)
【道光】松桃厅志		(六一)
【民国】沿河县志		(三一七)
【民国】印江县志		(四五七)
【民国】德江县志		(四七九)
【民国】江口县志略		(五三九)

兴仁府（今属黔西南州）

第四十二册

【咸丰】兴义府志		(一)
----------	-------	-----

第四十三册

【咸丰】兴义府志		(一)
----------	-------	-----

【光绪】兴义府志续编	·····	(三七九)
【民国】兴义县志	·····	(四〇五)

第四十四册

【民国】兴义县志	·····	(一)
【民国】兴仁县志	·····	(三五三)

第四十五册

【民国】兴仁县志	·····	(一)
【民国】兴仁县补志	·····	(一三九)
【民国】兴仁县采访录	·····	(三五七)
【嘉靖】普安州志	·····	(三九七)

第四十六册

【乾隆】普安州志	·····	(一)
【光绪】普安直隶厅志	·····	(一五七)
【民国】晴隆县志	·····	(四五九)
【民国】册亨县乡土志略	·····	(五一七)
【乾隆】南笼府志	·····	(五五五)

第四十七册

【民国】南笼续志	·····	(一)
【民国】普安县志	·····	(一二五)
【雍正】安南县志	·····	(四一五)
【光绪】安南县乡土志	·····	(五四一)

【民国】安南县志	·····	(五六五)
----------	-------	-------

镇远、黎平府（今属黔东南州）

第四十八册

【民国】思县志稿	·····	(一)
【光绪】黎平府志	·····	(七九)

第四十九册

【光绪】黎平府志	·····	(一)
【康熙】清浪卫志略	·····	(四八九)

第五十册

【嘉庆】黄平州志	·····	(一)
【民国】黄平县志	·····	(四三七)

第五十一册

【民国】黄平县志	·····	(一)
----------	-------	-----

第五十二册

【乾隆】镇远府志	·····	(一)
【嘉庆】古州杂记	·····	(二六三)
【光绪】古州厅志	·····	(二七三)

第五十三册

【康熙】思州府志	·····	(一)
----------	-------	-----

【康熙】天柱县志	(一四九)
【光绪】续修天柱县志	(二三七)
【民国】天柱县五区团防志	(四二九)
【民国】施秉县志	(四五三)
【民国】榕江县乡土教材	(五二九)

第五十四册

【民国】剑河县志	(一)
【民国】麻江县志	(七一)
【民国】岑巩县志	(三二三)

第五十五册

【民国】台拱县文献纪要	(一)
【乾隆】清江志	(四一)
【乾隆】开泰县志	(二〇三)
【民国】八寨县志稿	(三二一)
【民国】炉山物产志稿	(四八三)

都匀府（今属黔南州）

第五十六册

【民国】都匀府亲辖道里册	(一)
【民国】都匀县志稿	(三七)
【康熙】定番州志	(二八七)
【民国】三合县志略	(三七七)

第五十七册

【乾隆】独山州志	(一)
【民国】独山县志	(二八五)
【民国】独山县志文征志	(六一三)

第五十八册

【民国】定番县乡土教材调查报告	(一)
【咸丰】荔波县志稿	(一九一)
【光绪】荔波县志	(二一九)
【民国】荔波县志资料稿	(三六一)

第五十九册

【光绪】平越直隶州志	(一)
【民国】贵定县志稿	(六〇一)

第六十册

【民国】瓮安县志	(一)
【嘉庆】桑梓述闻	(三四九)
【民国】惠水县乡土教材调查报告	(四九一)
【道光】广顺州志	(五一七)

民国 贵州通志

民国·刘显世 谷正伦 修

任可澄 杨恩元 纂

一百七十卷 首一卷

民国三十七年贵阳书局铅印本

民国八年（1919）由任可澄倡议重修，民国贵州省续修通志局编，民国三十七年（1948）贵州文通书局出版（铅印本）。编辑：刘显世、谷正伦。总纂：任可澄、杨恩元。该志上限始于远古，下限止于清宣统三年（1911）。全书一百七十一卷，加首一卷，共一百〇五册，近八百万字，首有杨恩元、吴鼎昌、杨森、谷正伦、谭克敏、李寰、袁世斌等人序，全志设十九篇：舆地志、建置志、前事志、秩祀志、食货志、职官志、学校志、选举志、武备志、风土志、宦迹志、人物志、烈女志、艺文志、金石志、古迹志、土司志、土民志，专立大事记。有历代疆域图二十幅，志首均有序引，篇中多有按语、考证、粹语及存异说，补弘治、嘉靖、康熙、乾隆诸通志之漏记，梳理记载前人志书中内容均注明出处。

目录

前事志三十四	清 (十八)	(同治七年七月至八年五月)	…… (五)
前事志三十五	清 (十九)	(同治八年六月至九年六月)	…… (三八)
前事志三十六	清 (二十)	(同治九年七月至十年六月)	…… (六九)
前事志三十七	清 (二十一)	(同治十年七月至十一年六月)	…… (九五)
前事志三十八	清 (二十二)	(同治十一年七月至十二年十二月)	…… (一一八)
前事志三十九	清 (二十三)	(光绪元年至五年)	…… (一二九)
前事志四十	清 (二十四)	(光绪六年至十五年)	…… (一五七)
前事志四十一	清 (二十五)	(光绪十六年至二十九年)	…… (一八二)
前事志四十二	清 (二十六)	(光绪三十年至三十四年)	…… (二一〇)
前事志四十三	清 (二十七)	(宣统元年至宣统三年)	…… (二三六)
秩祀志一	大祀	……	(二四三)
秩祀志二	中祀	……	(二六三)
秩祀志三	群祀一	……	(二七六)
群祀二	……	……	(二八五)

食货志

群祀三	……	(二九八)
群祀四	……	(三一六)
附表一	土贡	…… (三二二)
附表二	税课	…… (三三〇)
附表三	徭役	…… (三三三)
附表四	秋粮	…… (三三五)
附表五	地丁	…… (三三八)
附表六	屯粮	…… (三四三)
附表七	税课	…… (三四八)
附表八	经费	…… (三四九)
附表九	厘金	…… (三五二)
附表十	商税	…… (三五五)
附表十一	协款	…… (三五八)
职官表一	汉	…… (三五三)
蜀汉	……	(三五三)
晋	……	(三五四)
南北朝	……	(三五五)
隋	……	(三五六)
唐	……	(三五六)
五代	……	(三五八)
宋	……	(三五八)
元	……	(三六〇)
明	官制一	…… (三六二)
明	官制二	…… (三六六)

明 官制三		(三七六)
职官表三	明	(三八〇)
职官表四	清 官制一	(三九八)
	清 官制二	(四〇五)
附	清代各科乡试典试官	(四〇八)
职官表五	清	(四一〇)
职官表六	清	(四三四)
职官表七	清	(四五六)
职官表八	清	(四七三)
职官表九	清	(四九二)
学校志一	明 儒学一	(五〇四)
	清 儒学二	(五一〇)
学校志二	学额	(五二一)
	学制学额表	(五三三)
学校志三	书院	(五三六)
	书院表	(五五四)
学校志四	义学	(五六二)
	义学表	(五六六)
学校志五	学堂	(五七二)
学校志六	学堂二	(五九九)
	学堂表	(六〇三)

清

秋七月參將唐天佑自王卡進克平越

曾壁光奏竊臣前因川軍進攻玉華山向大坪賊巢恐潘逆派黨往援難以計日歲事商令署提督張文德親督勁旅力攻龍貴於六月初五初八等日克復兩城維時參將唐天佑一軍於掃平巴鄉賊寨後即紮營巴鄉以防江外王卡匪黨查王卡係平越所轄地勢險要與衆多與玉華山向大坪諸賊互爲響應必須先行殄除則攻取益易爲力當飭唐天佑督同軍功楊有澤把總孔茂槐等渡江勦辦於是月十三日進攻大坪窩賊寨以擒進兵之路該匪首莫拾元劉登高齊等率衆乞降唐天佑即派作前驅令攻王卡以自効十四日黎明分軍疾進直逼賊巢夾擊環攻破賊壘降衆甚爲得力至十五日而王卡告克計陣斬賊首梁老冒沈老五等生擒偽沈元帥並悍賊王矮大五等訊明正法唐天佑即營其地以扼向大坪後路爲川軍聲援

貴州通志

前事志三十四

曾壁光奏遊擊唐天佑先係立營王卡分布五軍嚴扼向大坪後路嗣川師將該巢蕩平唐天佑即於七月初二日移營進規平越由安撫倉口各至分路而進逆首金大五率黨抗拒連日攻戰大挫兇鋒初六日唐天佑乘勝進勦直取楊義司賊卡克之揮軍逼城而壘督同把總孔茂槐劉家興訓導羅國輔隊人蔣倫元等分門攻擊該匪堅守不出初八日辰刻唐天佑以金大五與清黃苗匪互爲響應深虞援賊一至難期即下策勸諸軍銳意圍攻午刻自率勁隊由南門坍塌城缺處所冒刃而登我軍縱橫格鬪維時孔茂槐等亦將各門攻破四路掩殺該匪由東門奪路奔竄我軍追剿十餘里日哺收隊臣查平越城淪陷賊中歷年日久今經唐天佑於收復王卡之後相繼攻克洵足大快人心惟州城與清平麻哈爲鄰而皆賊我軍兵力未厚守禦爲難現委候補知府馬海棠署理州篆飭令會同唐天佑籌辦善後並因統領川軍唐炯稟報已將馬龍井牛場等處苗匪掃蕩寧獲清鎮縣黃平州印信各一顆呈請續銷令其將平越未投各寨先爲協同勦撫不定再圖進取

回匪馬仲等攻陷興義縣城代理知縣吳保慶逃永康堡



貴州通志

前事志三十四

二

曾壁光奏竊興義府貴州回逆馬仲張老八等號官城負固年新城回人金萬照即金阿洪等離釋反正而陽奉陰違仍與馬仲等暗通消息四出擾害情殊狡詐臣時飭代理興義縣吳保慶遊擊劉官德將戰守事宜妥爲布置並擬俟安順軍務肅清移師進剿本年六月二十八日據吳保慶劉官德稟報回逆馬仲等率匪黨萬餘分股竄擾吳保慶等帶練調圍前赴距城三十里之馬別橋要隘督督堵遏賊愈聚愈衆遂被攻破險口退守城池該匪逼城而壘勢甚危急當經臣檄飭署興義府兼攝普安縣劉正明署普安直隸同知吳宗閏齊團援救並飭幫辦安順軍務之護安義鎮總兵溫志學統軍策應適值安順股匪分竄安順縣屬之羊昌河窺伺縣城溫志學駐紮安平扼守未能赴援旋據吳保慶劉官德稟稱回馬仲等將附城各營擊破復分派賊黨阻截援師晝夜圍攻七月初二日因大雨不止城垣坍塌數處圍丁守陣日久力盡筋疲軍火口糧又復告竭是夜縣城被賊攻陷陣亡外委楊占鰲軍功王家齊並團練一百餘名吳保慶劉官德身各受傷經練丁救護而出暫紮距城數里之永康堡招集潰散以圖恢復

先是興義府久陷賊貞豐全境亦爲馬仲及黑苗盤據張定中金萬照據新城如故僅存興義安南兩縣而代理興義知縣吳保慶代理安南知縣則佳琦皆逼賊不能自立先後走回省署興義知府兼普安知縣劉正朝僅自保會巧回團首謝洪順爲鄂忠言府城僅回賊百餘戶另築內城自守外城漢民亦止數百戶聞屢欲樹旗降約東南兩鄉團練刻期舉事請忠往統其衆忠以易襲難守辭而輕騎赴普安就商正朝以府試辭不赴謝洪順所結內應洩其謀賊攻之洪順待援不至突圍走興義縣鄉團十九營同時俱陷圍民被害者二百餘家鄂忠急馳回央佑至是七月初二日賊遂陷興義縣城代理知縣吳保慶署游擊劉官德逃永康堡自謝洪順謀洩戴秉義等遂掠走馬別橋劉普別屯各營張三亦率新城賊出平彝陷紅板橋官德以五千餘衆禦擊不力故陷

是記

納省逆首戴秉義陳良初夜率賊渡馬別河襲燒軍上查實三營河外大股乘勢竄入官禮退保縣城官德率精銳爲前鋒扼紮官田壩子當賊進攻大路與賊相持兩月餘大小數十戰賊愈集五團回衆暨下游叛苗賊境來攻衆號二

十萬我軍寡不能敵七月朔縣城三失賊急以大大股屯雞場作長圍進攻永康堡縣紳劉官禮守堡其將鍾占魁陣斬賊首張元臣勢稍挫退據縣城

按興義縣訪册敘縣城失陷不知有代理知縣吳保慶過疏

潘名杰復犯貴定汪柱元等却之其弟潘德明降

名杰及下河諸苗賊回犯貴定縣城柱元約林從太何雄輝都司陳安邦等却之都勻協田興富田慶龍李玉南合擊玉南中槍殞于陣慶龍亦創回旋殞賊尋以乏食皆走回都勻惟潘德明先遣赴柱元獎希棲營乞降至是復自赴庭中瑜中瑜為請許之

己亥賊軍機大臣等曾璧光奏龍貴克復以後逆首潘名杰及其胞弟潘德明逃竄復糾合都勻苗酋柳天成等肆擾經官軍痛剿潘德明泣勸潘名杰投誠該逆不從竄往獨山潘德明乃自攜妻子戚屬而縛乞降曾璧光飭司訊供尚無偽情已示以不殺交張文德管帶使之殺賊自效固係權宜辦法藉安反側惟潘德明隨其兄為亂多年罪惡甚重此次窮蹙來歸難保將來不復萌異志其潘名杰在逃未獲尤恐潛通消息洩我軍情著曾璧光密飭張文德妥為鈐

貴州通志

前事志三十四

三

束留心體察如其始終不渝即責令隨隊勦賊贖罪未可驟假之兵以防反噬潘名杰係首先倡亂之人乃敢怙惡不悛必須上緊緝獲正法以洩黔民之憤並著曾璧光嚴檄各路將領暨各地方官會合搜捕

上同

官授曾璧光貴州巡撫黎培敬貴州布政使林肇元貴州按察使

六合團匪陳小五謀劫安順府城林自清自丁旗堡夜至陳不敢發六合團既既定陳小五亦受撫歸畢公大錫節制羣衆大害關而野心難降其衆時三五成羣入城肆暴已而禁阻不准乃持盤借市買為名至逼索餉需挾兵入署者屢矣一日排隊百衆馬槍皆燃繩貫子吶喊衝入城丁不敢阻到府稟見署人大駭有越垣避者公便服靴鞋僅視九侍（陳治道為祝老冒把弟勇健時稱祝九）茶見詰所由來大罵謂軍法難犯此等行徑將如何拍案一怒陳諾諾不敢蓋狼子野心始以畏威而來今見劍缺兵單已懷反側非公老於軍事少為所動變在几席矣（祝九後署城守都司事保得諸口逃聞是時其黨之燃繩持槍者刁打齋雀不已）是時受撫投誠者猶有賀大（時稱賀大王）亦稱變黨通守禁禁不馴與陳小五同既獲城見虛實畢

公知尾大不掉亦莫如之何結隊橫行肆無忌憚惟林自清家小井巷俱焉而

林適下鄉城危如卵一夕賀於列旗排刀出大炮於寺門燃繩俟城防震恐街口聯屠案以塞衆心票粟盼得至天明為幸俄而林以軍夜至反側潛消衆為之慙如渡險灘而履安瀾也是役也非林以軍至賀動於內陳應於外禍將不測疑林軍或畢公以書招至保城於危功實不小斯又有城以來一險故林雖以罪誅此事猶噴噴衆口

史明

先是賊等見城中防守嚴密難以攻取陳小五乃假意投誠畢公誤信處之城內後派陳大聖關之關上打六合團陳還還不佳是時城中內防奸究外防大寇有朝不保夕之勢父子夫妻相對而泣予公而忘私國而忘家以一身幹旋其間常抱城存吾存城亡吾亡之志七月內賀逆大王帶賊數萬上竄紫石板房等處又竄往北門外郭善二重頭起十五寨等處住紮畢公派陳小五剿辦該匪營善變志一日因與畢觀察要糧起鬨抬各街屠案堆圍府署且暗分街道搶擄城池危如累卵畢公召予至署謂曰吾許小五進城吾已斷送全城生命財產汝試為我往探伊意衆皆危之予徑獨往至賊營見邱隊者皆把刀

貴州通志

前事志三十四

四

怒目而視意欲加害及進見陳先以威嚇予置死生於度外與彼力爭彼知不

防事畢

屈乃轉威為善終隨予說

按安順訪册陳小五排隊馬衝入城丁不敢阻與平黔紀畧林自清稟有陳貴珍前降畢大錫其弟橫行郡城中禽所之之語微異蓋此案不見小五下落也惟是訪册云小五見畢大錫拍案一怒不覺屈膝何至又有勾結賀大火炮燃繩街口聯屠案之舉龍光詔所撰團防事畧則又自誇掉三寸舌令小五轉威為善是事畧與訪册不免矛盾又訪册稱賀紫關通寺則近在城中光詔事畧則謂賀紫石板房種種抵牾其實小五不敢劫郡城實快于林自清之威望郡人至今言之猶虎虎有生氣也

逆苗阿九圍攻馬龍井川軍擊敗之游擊唐天佑遂復平越州城

楊阿九復利凱塘凱哨革夷等賊圍攻馬龍井降剿初八日唐炯遣唐天佑率守備莫拾元梁開直趨平越州夜入城據之遣鄧鴻超等敗賊馬龍井賊遁牛

楊

壬辰賊軍機大臣等曾璧光奏逆首金大五與清黃苗匪勾結久踞平越州城

經游擊唐天佑督同孔茂槐等攻破各門四面掩殺該匪奪路奔竄常將州城克復此大官軍於收復王卡後兼克堅城勦辦尙屬得力惟該城與清平麻哈爲鄰守禦極關緊要該撫當嚴飭馬樹清會同唐天佑將善後事宜悉心籌辦毋稍疏虞並一面咨令唐炯將平越未投各寨協同勦辦以期一勞永逸

唐炯飭降人莫倫元隨黔軍乘間入據考平黔紀畧則崇奏爲是

川軍攻克祁山牛場烏雲等處苗寨唐炯進規清平黃平

諭崇實奏官軍自攻拔尙大坪賊巢後苗王楊阿九利約苗黨於牛場祁山等處結寨抗拒道員唐炯飭降人莫倫元隨黔軍乘間入據平越州城提督劉錫齡知府鄧錫源兵勦擊迭次獲勝陣斬苗王楊阿九賊寨祁山並竄去其牛場烏雲山賊寨亦經劉錫齡及總兵何行保等先後攻拔勦辦均屬得手即著崇實督飭唐炯等乘此聲威由牛場上塘進規清平黃平兩城回擊都勻麻哈以收破竹之勢

唐炯稟竊職道接據鄧丞憲安來稟七月十五日偽苗王楊阿九利約凱唐軍

貴州通志

前事志三十四

五

夷等處黑苗二千餘人自牛場來占據祁山屯聚丞當派果毅右營參將吳洪貴率所部自毛坡迎擊副前營守備楊繼春率所部自三元里後營參將周萬順率所部自梭羅兩路橫截吳洪貴首先遇賊鏖戰三時吳洪貴率騎突入賊羣手斬偽苗王楊阿九姜德滿賊勢披靡適周萬順楊繼春帶隊趕到左右夾攻吳洪貴奮勇往來衝突共計斃賊五百餘名賊大奔向桐木坪竄去吳洪貴單騎往追有十餘賊回拒吳洪貴中鎗落馬羣賊圍刺猶復手刃二賊力竭陣亡二十日職道力疾馳至馬龍井二十二日派安定前後兩營振武右營過牛場對山築壘苗匪大股來爭經劉鎮及忠字營何鎮安吉後營田游擊應泰三路截擊傷斃賊百餘名當將牛場賊寨焚燬奪獲乾字六千三百四十八號清鐵縣印一顆咸字三百五十四號黃平州印一顆二十三日何鎮領牧督隊由中路進攻烏雲山副將鄧鴻超帶果毅前營由營盤坡以擊其左文生徐舒游擊潘壽齡帶安定後營由大營山以視其右羣苗散列烏雲山下鎗子如雨我軍中路少却賊乘勢來衝鄧鴻超潘壽齡兩路突出何鎮領牧督軍回擊傷斃賊百餘名立將烏雲山賊寨三座焚燬賊奔聚九龍山我軍追至賊寨寨向平

五地宋一帶逼去忽大雨猛我軍即收隊回牛場伏莽將吳洪貴籍貫貴州鎮遠縣劉鎮十餘年身經數百戰忠勇樸實甚爲苗匪所憚此次攻克玉華山克安縣城厥功甚鉅職道以前次水溪溝南蒙臺台隨招保獎參將勇號擬俟案案方爲稟請憲施不虞遲爾捐軀實堪痛惜

稟稿自六月十九日吳參將洪貴克復安縣城二十三至二十五日苗逆偽楊王利率黑苗千餘迭來攻撲經吳洪貴率所部果毅右營及譚光前降衆分路迎擊陣斬偽李元帥傷斃賊百餘該逆退據牛場上塘監家關復利約凱塘凱召革夷偽金王偽何王偽李王偽姜王等悍苗數千來援尙大坪圍攻馬龍井降衆其時大軍已拔尙大坪卑府同劉鎮即飭黔省參將唐天佑率降人莫倫元乘間於本月初八日入據平越州城招徠麻哈民團派副將鄧鴻超帶果毅前營副中營及王成忠等降衆參將劉宇德劉萬春帶振武前右兩營由高平司進勦馬龍井初八日已刻苗逆數千蔽野而來劉宇德等由右路迎擊王成忠等由左路迎擊鄧鴻超自後來往接應鏖戰三時斃賊百餘名賊始大奔退至牛場卑府伏查凱塘凱召革夷門一帶爲最驍悍今既悉聚牛

貴州通志

前事志三十四

六

場上塘抗我川師必須調集大軍分路痛勦然後清平黃平可迎刃而解惟各軍自渡江以來觸冒暑雨晝夜奔馳病者十之六七死者十之三四張守鄧丞顏牧及委員楊裕本副將謝鴻章鄧鴻超等得力員弁皆相繼染患疫癘不能督隊而師行既速糧運又多不濟且後路空虛不可無兵鎮壓現飭鄧丞部署降衆及果毅中後左右四營分駐大轎頂山紅燈堡小坡以備黃平施秉苗逆藉以警調士卒復約築道前來商議此時烏江大路無賊進部可無須防築道自帶安吉中營駐小轎頂山以備後患並料理糧運及善後事宜分安吉前後兩營何總兵忠字營隨同進勦意見相同日來忠字安吉各營已陸續開拔前進卑府侯張守等病勢差減糧運到來即偕劉鎮督率大隊馳往馬龍井督戰以期滅此朝食

唐炯稟籌善後各事宜

先是烟稟官劉繼躍以有用之師不應久駐畢節無賊之地請移駐清鎮修文以遏安順賊請趙彭芝亮移駐思石之軍進規施秉席實田率所部進規鎮遠台拱張文德以龍貴師進規都勻諸道並進自得專意苗匪庶可剋期克功至

是又籌善後各事宜曾於會暨光畧曰竊自率師入黔經過桐梓綏陽涇潭諸縣田蕪民稀其時桐梓綏陽復盜寇熾未嘗絕迹涇潭則官吏寄居永興周環數十里地面丁糧軍穀盤金不免追呼愁苦怨歎不忍見聞閏四月肅清烏江北岸移師邊郡籌措糧餉竊見邊義一縣雖平定逾年而見存戶口不及平時十之三田土僅東北兩鄉次第耕種然亦不及平時十之六而五月以來逾月不雨土肉乾拆禾苗枯稿六月雖頗多雨計收成不過十四五而桐梓復被大雨深沒田廬無算愚以為陷賊之區征剿藩固在所先而撫存休養宜善其後譬如大病傷寒病時湯劑鍼灸不可緩及其就愈所以將護節宣小失其宜則勞復之證百死一生不可不深慮也今者烏江南岸寇盜漸掃除當此之時若得賢良有司加恩拊循寬其財力數年之後筋骸氣血庶復其舊若遂以為大愈不復致調衛之功但見其耕種負販遽欲資以歷年丁糧目前軍谷盤金別立名色多方科派則流亡者不敢歸來狡黠者必復囑藥利入私門害貽地方正不可不深長思也即以軍谷論桐梓涇潭未得其詳邊義一縣駐軍一月頗悉頗末緣烏江經省大路寇盜出沒無常商賈裹足餉源枯竭不得不

貴州通志

前事志三十四

七

撥勇防護既駐防不得不就近采辦以濟軍食此亦無可如何之苦衷而無如所委職紳輩不能仰體子愛殘黎之心一經奉檄虎視鄉閭恣其婪婪不問有無貧富按圖派認每石市谷認賣者須貼銀一錢有奇而自鄉至城自城自駐防所在近者二百餘里遠或三四百里往來率須四五日七八日不等運負乏需責令自辦順連路絕相望於道而中途或遭盜殺或為勇遮往往十人出門歸者不過五六至於上納一市石輒加二斗及責令認賣者來城春碾每谷一石賣交市斗淨米五斗及發營勇又係糴米難以雜稅每石入公不過得米三斗零耳請試以其采辦之數通計之即知其抑勒乾沒為不少矣剿殘黎之命失士卒之心而徒飽一己之私囊作奸貽害甚非末細今者向大平橋頂山寇盜已平烏江大路往來無阻此路防堵余士舉何正親團勇都宜裁撤還郡軍谷亦乞停辦其乾沒抑勒伏望嚴究以紓民困而警官常至龍貴則經收復而平越叛苗又據牛場抗拒唐天佑乘間入據州城計龍貴平越一帶皆可因糧於賊即貴陽軍谷亦可停辦地方幸甚自向大平以西北至小橋頂山青棚寨一帶為平越屬地而降寨則多係開修貴筑人民都勻八寨不過十之一二

貴州通志

前事志三十五

八

玉華山以西北至江界河一帶為豐安屬地而降寨則製黃施鐵牛之豐安附城二三十里間則多係土著革夷思石不約十之一二大橋頂以東南至平溪一帶為黃平屬地其降寨亦多係黃清平越人民所在田土多為降寨及叛苗耕種成熟烏江北岸如涇潭龍邊綏各地方亦多黃施平清鎮遠人民散處耕種竊以自邊綏桐仁被脅難民及思南各處降寨資回籍其為開修貴筑人民俟秋成後復多有資即給票牌移會司飭安本業漸次開墾不得指為叛逆絕產多方指勒使其流離失所都勻八寨及平越土著悉以移貴州城而授以附城二三十里內絕產其清黃施鎮現飭代理黃平州牧朱倬應耀督率分駐大橋頂山平溪一帶俟大軍規復舊州即便修葺舊州城而授以附城二三十里內絕產於平黃豐安間分屯二千五百衆於以控制苗疆捍衛省門實為久遠大計而清查丈量計口授田事體繁多非得賢良有司不能從容區畫相安無弊而新附之衆時正如嬰兒中道失母傍徨無依急望地方賢良有司親歷指循乃有繫屬宜道維繼雖奉旨准赴黔省會同貴東道籌辦善後而到來日期遠近莫必地方事宜不能虛懸以待擬請憲台飭司迅選賢員署理平越豐

安飭令隨川軍後掃蕩一處即撫定一處人心既有繫屬善後亦易辦理
命曾璧光節制川楚兩軍
是月奉上諭曾璧光奏請飭四川湖南等省嚴督席寶田各軍分進勦辦以覓全功等語現在龍里貴定城均經克復黔省軍務漸有轉機若川楚援勦各軍遵行撤退不惟全功盡廢必至後禍尤烈據曾璧光奏石阡思南因撤兵太速餘匪已有百十成羣漸肆劫掠且由龍貴東下直至鎮遠清平黃平施秉一路苗故各匪林立非川軍楚軍分途進剿黔省殊難支持所奏擬係實情唐炯等由北而南縱橫督擊不可稍涉遷延果司席寶田已給假兩月現計假期將滿著劉體敬令該果司仍率所部山黔省下游取道前進期與川楚各軍三而夾擊使苗故各匪首尾不能相顧以壯聲威崇崇實屬稱封所有唐炯席寶田各軍並著崇崇等據道前將各該軍隨曾璧光節制其營餉項軍火仍由該省源源接濟用資他圖曾璧光亦當飭令張文德督率黔中將領乘此聲勢奮力追擊並隨時與川楚各軍互相策應逐漸搜除以清餘孽

按劉嶽昭當爲劉嶽昭之誤

八月平越清平仲夷革老及難民黃子剛等乞撫

十九日平越副井五寨叛苗出楊家林薄唐大有營參將潘壽齡敗之追殺龍井諸寨地松叛苗同時掩至翠五總兵鄧鴻超迎擊中槍少却參將石洪守備王守忠等援擊敗之復追殺地松苗寨賊退翁河川軍亦多傷亡劉嶽昭進軍地松平越清平仲夷革老及麻哈二龍山平越羊大山被脅難民黃子剛王登雲數十寨皆乞撫

唐炯稟竊職道於七月二十三日移駐牛場後隨即分布鄧守鋒帶兵六營扼興隆堡藍家關以規舊州張道玉文唐鎮大有各帶三營扼楊家村以順平越職道偕劉提督由卡龍罕五以剿地宋上塘忠字營何鎮行保安吉後營田參將應豪扼翁巴以備抄截已定期並舉而連雨不止直至八月十五十六兩日天氣稍霽龍井五寨叛苗前來攻撲楊家林均被我軍擊退十九日大股復來攻圍振武軍營參將潘壽齡劉宇德都司王虎臣分路截擊陣斬悍苗四十名該逆大奔我軍乘勝追逐十餘里立將龍井苗寨焚燬是日地宋叛苗亦

貴州通志

前事志三十四

九

大股掩至翠五經總兵鄧鴻超督隊迎擊遇伏左膝中鎗傷我軍少却該逆蜂擁而來參將石洪備王成忠李文彩各帶隊奮勇突斃賊甚衆乘勝追逐十餘里立將地宋苗寨焚燬逆退據狗望河隨據平越清平所屬狎夷抗燒及麻哈被脅難民共七十二寨前來投誠職道均一一撫慰給與旗幟札示令暫勿聲援待官軍進剿時倒戈夾擊現在劉提督已進紮地宋而日夜霖雨至今不止一俟天霽職道即移駐地宋妥爲部署次第掃蕩

撤降人潘德明隨張文德規都勻

德明上言下游羣盜如毛近龍貴克復軍威振而賊勢蹙被脅者諒亦變計但其中有通處苗賊難自援者陷溺既深疑懼不前此些宜進取都麻龍貴方能肅清然都勻八寨遍地皆賊現在胡四趙五據茅坡扼舊縣平伐一路柳天成據都勻潘明杰據掘洞麻哈則屬登科據高木塘若一軍直進難以制敵必須分道並進一出樂平至谷洞以扼灰坡牽制麻哈並分出羅戶司文德關以逼掘洞一出舊縣打鐵寨上下擺洗攻茅坡再分進月亮洞掘芒如此都勻可期得手然後進規麻哈以前扼灰坡者爲一軍再以一軍由旋衝小堡繞出高

視先搜剿諸賊然後會軍麻哈都勻形勢不難復而難守如圍復一處則彼處賊來援適以牽制重兵莫若約期齊舉方爲得計會暨光因令同降人蔡起坤楊永清等率所部五百人進規都勻

滇軍都司陳發昌等奉檄來援與義吳保慶劉官德乘虛復入縣城

會暨光奏據署興義府知府兼普安縣知縣劉正朝稟稱查興邑賊勢甚衆分布各隘阻我援軍商同吳宗蘭督飭署普安營遊擊易飛熊署安南營都司馬金奎帶領團勇進圖新城匪黨以爲釜底抽薪之計八月初八日攻破青山賊卡斃匪三十餘名直趨新城該匪金萬照即金阿烘率匪抵拒我軍奮力攻擊因城小而堅未能得手劉正朝恐匪黨回巢阻截糧道仍移紮青山以顧普安廟縣門戶並據進援興邑之路又據吳保慶劉官德稟稱縣城失守後督同候選從九品劉官禮收集部練並添募漢勇六百入襲破米納等處賊營四座斃賊百餘擒斬賊目馬玉沅一名復因兵力未厚調團三千餘人於八月三十四十五等日分路進剿將三元村親言閣三家寨等處賊營攻破斃匪甚多即於距城二里之校場七星廟等處分別立營並經督臣劉嶽昭雲南撫臣岑毓

貴州通志

前事志三十四

一〇

英派令都司陳發昌張兆顯等帶領兵勇會同平彝縣團首張旭中等前來援應分紮威舍沙營等處進攻安邊一帶賊營大挫兇鋒城內匪因新城安邊兩路官軍攻擊分黨回顧吳保慶等於八月二十日乘賊勢之衰分五路並進齊抵縣城四面圍攻劉官德不避鋒鏑用竹梯奮勇先登各隊繼進各門被我軍攻破餘匪奪路奔竄至三更而縣城克復我軍陣亡外委劉德勝等雲南巡撫岑毓英遣都司陳發昌張兆顯同平彝團首張旭中等援興義縣由安邊進取馬金奎易飛熊率團練攻城新成張定中自興義率賊回援二十二日吳保慶劉官德等乘虛復入縣城餘多還府惟戴義翟有魁仍據納省定中回新城金奎飛熊潛退白寨青山事在八月

官轉以重金募粵勇三千屬西林在籍同知葉正邦率攻興義府城別遣縣紳查寶三說降苗馬金魁反正攻新城賊聞老巢失狼顧却走我軍乘之八月二十夜三復縣城初逆回犯縣魯中義民李汝雲倡義拒逆鄉勇百餘人攻賊於五岳山汝雲爲賊首馬聯陞所執不屈死義勇等亦同時戰歿

按降苗馬金魁當爲降回馬金奎之誤